

さん ゆ 三 結 通 信

平成27年10月1日、株式会社三油商会第70期スタートとともに、全スタッフ・全支店・本社を「三油を結ぶ」ツールとして定期発行していきます。
初日の新人バイトさんから40年以上の重鎮さんまで、多くの方の目に触れ、心のフックにかかります様発信していきます

旬話

世の中や社内で見つけた旬の話題を取り上げていきます。

創刊号ということもあり、社名「三油商会」の由来についてつづります。
創業は石油事業。当時、商社の「三井物産」様と油をお取り引きしていました。そのために三井の「三」と石油の「油」をとって「三油商会」と命名されました。石油・スタンド事業も時代の流れから6年ほど前に終了。その後も継続していた天然ガススタンド(丸の内店)も先日9月30日をもって東邦ガスからの委託運営を修了しました。【旧丸の内本社】飲食部門(かつや12店舗・コメダ珈琲店2店舗・リンガーハット2店舗)、タイヤ交換専門PITステーション(3店舗)運営となった今、扱う商品・サービスは異なっても三油商会に関わってくださるお客様・取引先様・従業員・その家族様には「あの店に行って(利用して・働いて)今日も良かった」とちょうどこの秋空のような気分の良さを提供し続けられる三油商会でありたく願います。



きらり言葉の葉

言葉は時に人を傷つけ、時に励ます目に見えない道具です。
みなさんの生活の中でキラリと役立つ、勇気づける言葉を紹介합니다。

「損失回避性」

セブン&アイ・ホールディング会長兼CEO 鈴木敏文

「得られた(してもらった)満足」より「失った(されなかった)不満」を2~2.5倍強く感じる

サービス業における例に当てはめると「来店しても挨拶してくれなかった」というクレームがあります。しかし、「来店したら挨拶してくれた」というお褒めはなかなかいただけません。それはこの人間心理に基づくものですね。いつもの2倍以上感じ良く挨拶しないと！鈴木会長は今や18,000店に達するコンビニ最大手セブンイレブン創業者。1960年代以降大型スーパーが進出し、商店街・小型店が衰退の逆風時期に「大型店と小型店の共存は可能！」と社内外の反対を押し切り、アメリカ発祥チェーン店セブン・イレブンを創業しました。「皆が反対するという事は皆が考えていない意味。だから逆にチャンス！」83歳になられても！この発想力・行動力には脱帽ですね。

生きる資産

「人材=人財(産)」と言われて久しいですが、当社ではそれどころか「会社の資産」です。会社が人をつくるのではなく、人の集合体が会社。三油を構成している「資産」を紹介していきます。

高橋 真市 (58歳) 所属:PITステーション

自分の芯:自分に負けないこと、人と比べるよりも。
日本酒と猫

三油商会No.1★勤続41年。ガソリンスタンド事業35年たずさわり、「高橋さんを活かすためにPIT部門を作った！」と水谷社長に言わせる程の存在です。タイヤ交換に限らず、車の事で悩んだらまず相談を！時々聞こえないふり(私の話だけ?)をしますが、親身になって聞いてくれますよ。お客様の立場に立ち、お客様が損すること、危険なことはしっかり説明し、最善の仕事をする背中と、見送りの笑顔でお客様を毎日感動させています。



【お願い】編集長の独断と偏見で、ある日突然飛び込み取材にまいりまーす。その節はよろしく願います(祈)